

一般社団法人障がい者アート協会

第8期 事業報告書

2022年12月～2023年11月



Artist 空飛ぶクジラ

Title 平穏な時

目 次

- 総括…………… P2
- 経済支援実績：著作権利用料及び創作活動応援費…………… P3
- 障がい者アート周知活動：オンラインギャラリー運営…………… P4
- 収益事業他：作品二次利用及びその他収入…………… P5
- 財務状況：損益・資本…………… P6
- その他：著作権等管理事業者登録…………… P7
- 8期計画値についての振り返り…………… P8
- 参考資料…………… P9～P14
 - ・参考資料Ⅰ（作品二次利用実績一例）
 - ・参考資料Ⅱ（登録者の声）
 - ・参考資料Ⅲ（可能性アートプロジェクト）
 - ・参考資料Ⅳ（活用企業の声、一部抜粋）
 - ・参考資料Ⅴ（8期お取り組み及びご協力企業様）
 - ・参考資料Ⅵ（財務諸表）

以上



表紙のイラストについて

Artist

空飛ぶクジラ（東京都在住 統合失調症）
見た人がホッとするような作品を主に描いています。
体調や気分によって波がありますが、
これからも応援よろしくお願いします。

Title

苔リウムと砂時計からインスピレーションを受けました。
平和な時間がずっと続くように願いが込められています。

～ 総括 ～

2022年12月より始まりました当協会の第8期は、第一次中期計画初年度でもあり非常に重要な一年という認識のもと活動を開始したところから一年を終えた結果として、収入や利益、そこから生み出される障がい者への経済的精神的支援や協会としての新たなチャレンジ含め、多方面において大きな実りのある一年となりました。

創作活動を続ける障がいのある人々に、その発信場所として精神的満足を得ることのできるオンラインギャラリー【アートの輪】は登録者数約1,400名、公開作品数約47,000点と、依然として右肩上がり成長を続けています。そしてこのギャラリー運営と当事者への経済的支援の実現を支えるアート作品二次利用^{※参考資料I参照}などの収益事業や多方面からのご寄付等で成り立つ総収入は7期から約20%増加し、初めて3,000万円を超え、収支についても昨年7期に続き黒字となりました。このことは「アートを通じて障がい者が自然に社会参加を実現できる社会的インフラを構築する」という当協会の取り組みが、持続的成長可能な一つの事業モデルとして昨年構築できた基礎的な枠組みがさらに歩みを進めたものと確信しています。

そして、その枠組みに付加する8期の大きな成果として、当協会が2023年9月に障がい者支援組織としては国内唯一の「著作権等管理事業者」として文化庁に登録されたことがあげられます。これにより当協会は、障がい者当事者の著作権がどのように適切に管理されるか、そして著作権使用料やアート使用料がどのように算出されるかなどといった普段あまり公に語られることのない障がい者当事者にとって重要な事柄が、文化庁並びに当協会ホームページなどで公開されるオープンな組織になり、障がい者の著作権保護や管理と言った面で、国内最大の参加者数と管理作品を有するに相応しい、社会の信頼に応えうる団体に一步近づくことができたことと認識しています。

一方で昨年課題として認識した急速な成長、規模拡大によって生じているオンラインギャラリーの閲覧性の低下、アーティスト情報や作品の管理、経済支援にかかる煩雑且つ膨大な作業といった深刻な課題については、ほとんど手を付ける事ができずに積み残したままとなりました。

このように、当協会の8期は周知や取り組みの裾野拡大等「成長」と言う面では一定の成果を得たものの、様々な課題を解決することで得られる「安定」と言う面においては対応が不十分な結果となり、次なる安定成長に向けて早急なアクションの必要性を改めて強く認識する一年間となりました。

以上

■経済支援実績：著作権利用料及び創作活動応援費

第8期は延べ1,632名の登録者に対して総額7,096千円の経済支援を実施することができました。前期比で対象者は107%、支援総額は139%と依然として規模の拡大傾向を維持しています。

また、収入が前期比で増加したこと（後述）及び経済支援総額の伸びが対象者数の伸びを上回ったことから、結果的に一人当たり

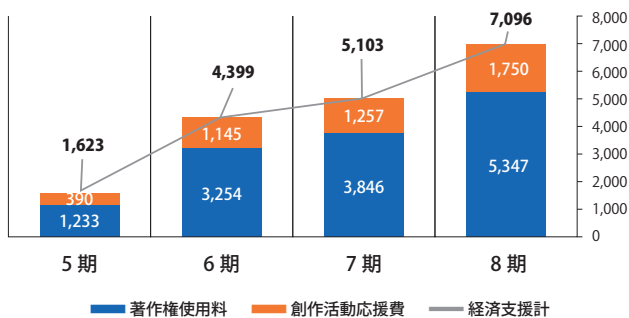
の経済支援額もわずかではありますが増加しています。ただし金額的にはまだまだ小さいものであることから、引き続き全体及び個々への支援拡大に向けて取り組んでまいります。

経済支援対象者の内訳につきましては、延べ1,632名の49.2%（803名）と約半数の参加者が著作権利用料を得ることができました（※下図参照）。これは昨年の39%から大きく増加しており、障がいがありながらも創作活動を続ける人々の作品を自社の事業活動に活用しようという多くの企業の取り組みにより昨年よりも多くの方が作品の対価を受け取り、創作活動に対する対価に加えて一歩進んだ社会参加を実現できたことを意味しています。

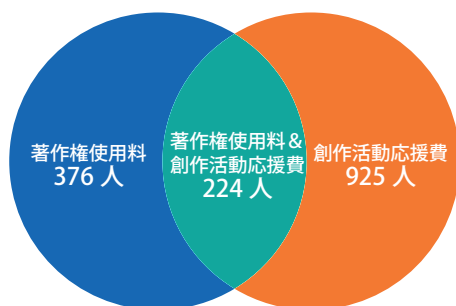
このような体験によって、どこか閉塞感のある当事者自身の創作環境においても、企業のアート活用というきっかけを通じて大きな満足感や希望、生きがいややりがい等を得ることができたというメッセージを昨年同様本年も多く頂戴しています。 ※参考資料Ⅱ参照

引き続き「だれ一人取り残さない」この自立支援を継続してまいります。

経済支援額推移

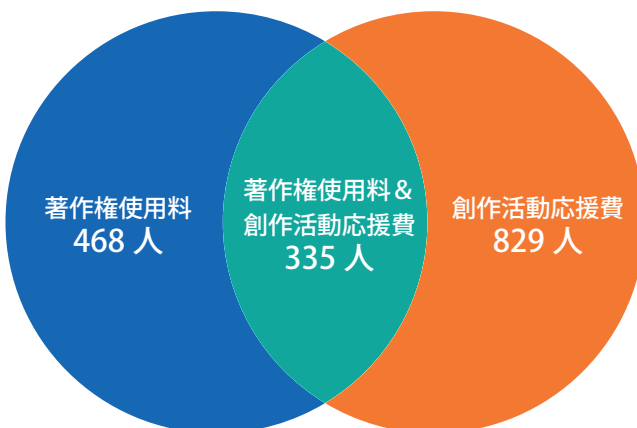


第7期支援対象者内訳



延べ 1,525 名

第8期支援対象者内訳

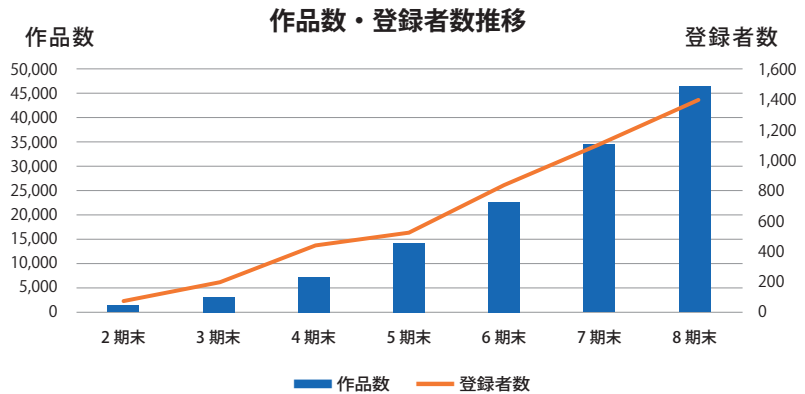


延べ 1,632 名

■障がい者アート周知活動：オンラインギャラリー運営

開設8年目となるオンラインギャラリー【アートの輪】につきましては、8期末で参加者数 1,393名、公開作品数 46,595点と持続的な成長を続けています。母数が大きくなったこともあり、対前年の伸び率にこれまでのような

勢いを見られないものの、一日当たり約1名の参加登録、約30点の公開と成長そのものを継続しており、依然としてこのような発信場所を必要としている障がい者は多く存在しているものと思われま



一方で、これまで様々なアートをいつでも誰もが気軽に楽しむことができるギャラリーとして順調に成長を続けてまいりましたが、その規模拡大にシステムがついて行けず現在閲覧性の悪化、或いは突然のサーバーダウンといった問題に直面しています。結果的にオンラインギャラリーの訪問者数は7期に比べて約6割まで減少し、障がい者の創作活動を周知に対して大きな影響を与えていると考えられます。3年後には作品が10万点を超えることが想定されていることから、障がい者のアートを通じた社会参加実現ツールの一つとしてこの問題につきましては大変重要な問題であり、資金調達含めてギャラリーの抜本的なリニューアル計画を作成中であります。

また 7期から課題として認識してまいりました「一年以上作品を公開していない非アクティブな参加者」の参加意識醸成につきましても、8期からさらに参加意欲を持ってもらえるイベントの開催等により、アクティブな参加者（一年間のうちで作品及び創作活動の対価を得た参加者）の割合は7期の一割増に続き前期8期も5ポイントほど増

●アクティブな参加者数

(単位：名)

	7期	8期	8期	
			対7期	増減
個人参加	458	581	126.9%	123
団体参加	125	223	178.4%	98
(団体数)	(32)	(45)	(140.6%)	(13)
計	583	804	137.9%	221
全参加者数	1,122	1,393	124.2%	271
参加率	52.0%	57.7%		

※創作活動応援費及び著作権利用料支払い者数から算出

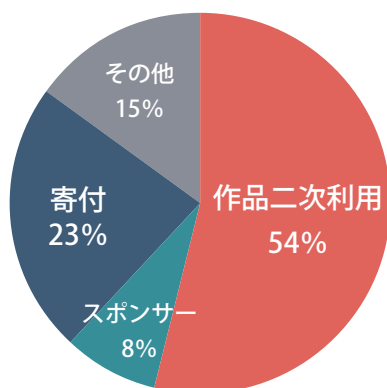
え、全体の約58%まで上がっています（右図参照）。この上昇は当協会の取り組みにご賛同いただいた全国の障がい者支援団体の積極的な参加が寄与したものと考えられます。現在全国から77団体にご参加いただいておりますが、引き続き団体や個人に参加を促すようなイベントの実施に取り組んでまいります。

■収益事業他：作品二次利用及びその他収入

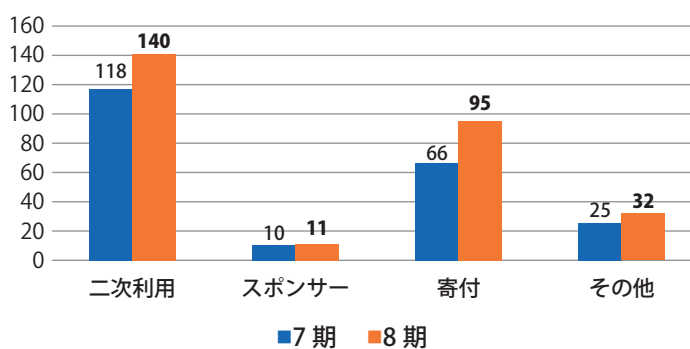
8期一年間の収入総額は64社（7期同数）^{※参考資料V参照}の企業及び団体様のご賛同並びにお取り組みにより、対7期119%の30,531千円という増収で終えることができました。一旦足踏みをした形となった7期から再度増収傾向に転じましたが、これには2018年からTOPPANホールディングス株式会社様、サポートセンターどりーむ様と共催という形で参画させていただいている「可能性アートプロジェクト」^{※参考資料III参照}を通じて、TOPPANホールディングス株式会社の多くのお取引先様がその趣旨に賛同し、お取り組みいただいたアート活用等から得た収入が大きく寄与しました。

収入件数ベースでは昨年同様社会的な関心の高まりを背景に、作品の二次利用はじめ、その他全ての収入種別で7期実績以上の件数となりました。

収入内訳（金額ベース構成比）



8期収入件数内訳（種別）



8期の特筆すべき点は、7期に引き続きお取り組み頂けた企業が大変多かったという点です。具体的には、昨年お取り組みいただいた企業の66%が8期も継続して取り組まれ、そして8期総収入の約8割がそれらの企業からの収入となりました。これは、このお取り組みに対し各企業が事業活動の中で確かな手応えや意義をご実感できたが故のことと推察され^{※参考資料IV参照}、とても嬉しく思うと同時に、このリピート率をどのようにして高めていくかが今後の重要な課題と認識しています。

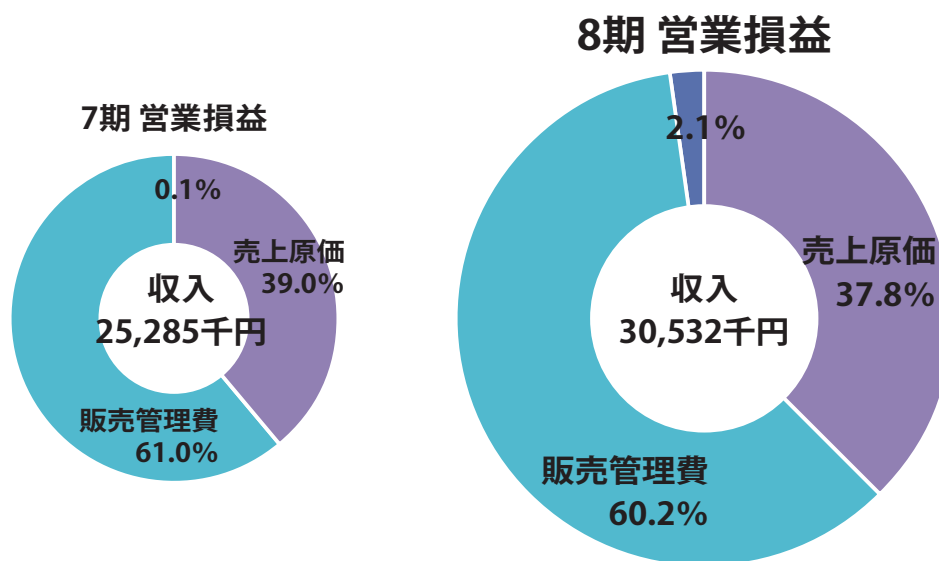
	7期	8期
お取組企業数	64	64
内、リピート企業数		42
リピート率		66%
構成比		66%
収入	25,242	30,531
内、リピート企業からの収入		23,557
収入全体に占める構成比		77%

また、昨年7期から注視しております作品がどれだけの人々の手元に届いたかという結果につきましても、ノベルティグッズの生産数や社内報の配布数等の実数を追える活用実績だけでも7期実績の約20万人に対し、8期は2倍近い約38万人の人々の手元にアート作品の様々な二次利用の形^{※参考資料I参照}を通してアート作品を届けることができ、当協会の目的の一つである「作品の二次利用等の収益事業を通して障がいのある人たちの創作活動を一人でも多くの人々に知っていただく」という「周知及び作品を世に出す機会」の裾野拡大については、7期に引き続き着実な結果を残せました。

さらに、昨年同様全国の個人或いは企業からいただきましたご寄付につきましても約2割増加し、依然として当協会の運営にとってなくてはならない重要な収入の柱となっています。

■財務状況：損益・資本^{※参考資料VI参照}

8期は収入（売上）30,532千円の営業損益630千円と7期に対して増収増益となり、法人税を納付したあとの最終利益も黒字で終えることができました。



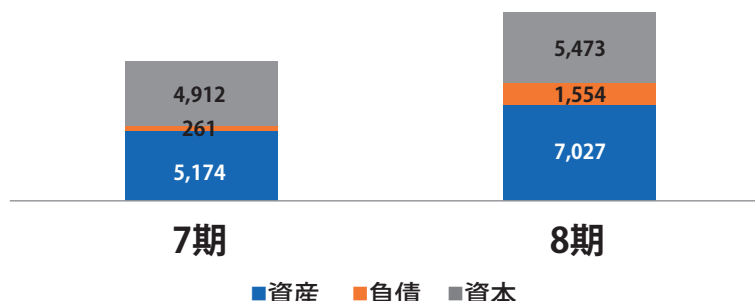
これは前述の売上増加に加えて多種多様な「寄付」と受け取り手数料的な作業費からなる「その他収入」の増加が売上原価率低減に結びつき、結果的に売上総利益の上昇に繋がったものです。これに販売管理費の伸び率を抑制できたことが加わり7期に比べて損益状況は改善されました。

2年続けて黒字化されたことは、昨年記しました、「民間企業の事業活動と障がい者の自立支援という社会的課題解決とを両立させるビジネスモデルの構築」、或いは一人ひとりの障がい者が自身の生み出すアートを通じて自然に社会参加できるという「障がい者支援領域における一つの社会的インフラの構築」に向けて、まだまだ改善点はあるものの、その歩みを進めることができたものと考えます。

資産状況につきましては、流動資産が7期の約4,900千円から約6,800千円まで増加した一方、本年より始まりました消費税納付のための未払い消費税が流動負債に計上されたことで負債額は7期の260千円から約1,500千円と大きく増加しました。

貸借対照表（7期・8期）

単位：千円



それでも結果的には小さい規模ながら純資産は7期から約50万円プラスの約550万円となり、財務状況は7期より多少なりとも改善されたと考えます。

ただし、7期以来課題であった将来に向けた投資を実行できる財務基盤には未だに至っておらず、今後の成長実現のためにも、9期は大規模な資金調達によるさらなる財務の安定という重要課題の解決に取り組みます。

■その他：著作権等管理事業者登録

本年、当協会は「企業や個人による障がいのある人々が生み出すアート作品活用の促進」、「障がい者の経済的精神的自立支援」、「障がい者の著作権擁護」等の推進を目的に、著作権等管理事業者としての登録を文化庁長官に申請し、9月1日より、国内の障がい者支援団体としては唯一の事業者として登録されました。

今後も障がいのある人々のアート作品を広く紹介し、その表現力と芸術性、そしてその著作権を尊重し続けると同時に、公開されている使用料規定に基づき徴収した著作権使用料全額を作者に還元することで、作品の様々な活用を通じて「障がい者の自立支援と社会参加」促進に寄与し、社会全体がより包括的で理解のある文化を築く一助となることを引き続き目指します。

著作権等管理事業者登録状況一覧（令和5年9月1日現在）（全29事業者）

登録番号	名称	取り扱う著作物の種類
1001	一般社団法人日本音楽著作権協会	音楽
1002	公益社団法人日本文藝家協会	言語
1003	協同組合日本脚本家連盟	言語
1004	協同組合日本シナリオ作家協会	言語
1005	株式会社NexTone	音楽、レコード
1006	株式会社東京美術倶楽部	美術、言語
1008	公益社団法人日本複製権センター	言語、美術、図形、写真、音楽、舞踊又は無言劇、プログラム、編集著作物
2001	一般社団法人日本レコード協会	レコード、実演
2004	一般社団法人学術著作権協会	言語、図形、写真、プログラム、編集著作物、美術、建築、映画、音楽、舞踊又は無言劇
2005	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	実演
2006	一般社団法人日本美術家連盟	美術
2007	株式会社メディアリンクス・ジャパン	美術、写真、言語
2010	一般社団法人教科書著作権協会	言語、音楽、美術、図形、写真
2013	有限会社コーベット・フォトエージェンシー	写真、言語、美術、図形
3010	一般社団法人日本出版者著作権協会	言語、写真、図形、美術
4001	一般社団法人出版物貸与権管理センター	言語、美術、写真、図形
5001	株式会社International Copyright Association	音楽、レコード
6001	協同組合日本写真家ユニオン	写真
7002	一般社団法人出版者著作権管理機構	言語、美術、図形、写真、編集著作物
8001	株式会社アイ・シー・エージェンシー	音楽、レコード、実演
9002	株式会社日本ビジュアル著作権協会	言語、美術、図形、映画、写真
12001	一般社団法人日本美術者著作権協会	美術
13001	一般社団法人日本テレビジョン放送著作権協会	映画、放送
14001	一般社団法人映像コンテンツ権利処理機構	実演
18001	公益社団法人日本漫画家協会	言語、美術
22001	株式会社日本工芸著作権協会	美術
22002	一般社団法人障がい者アート協会	美術、写真

以下の事業者は、著作権等管理事業の開始準備中です。（管理委託契約約款及び使用料規程を定め、文化庁へ届出をしなければ事業を開始できません。）

登録番号	名称	著作物等の種類
15001	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟	映画、有線放送
20001	一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会	言語、音楽、舞踊又は無言劇、美術、建築、図形、映画、写真、プログラム、実演、レコード、放送、有線放送

■8期計画値についての振り返り

	計画	実績	
			計画比
収入	35,000	30,531	87%
支出 (千円)	30,750	29,902	97%
収支	4,250	629	15%
アートの輪 登録者 (人)	1,510	1,393	92%
アートの輪 作品数 (点)	55,000	46,595	85%
経済支援 対象者数 (人)	2,100	1,632	78%
経済支援 支援額 (千円)	7,000	7,096	101%

①収 支 → 全般的に未達

8期の収入計画については収入の未達によって、支出は計画値内に抑えられたものの収支は計画に対して大幅未達となりました。収入計画未達の大きな要因としてウェブサイトへの集客減少が考えられます。引き続きこの原因調査にあたる一方で、収入増策としてこれまで滞っていたプッシュ型の営業活動にも前向きにチャレンジいたします。

②アートの輪 → 成長一段落

登録者及び作品数の目標につきましては、これまでの成長ペースを参考に設定したものでありますがいずれも未達となりました。これは依然増加傾向は続いています但其の成長スピードが一段落したものと考えられます。9期につきましてはこれまでまだ実現できていない全国の特別支援学校の参加に向けてアクションを起こしてさらなる裾野拡大に努めます。

③経済支援 → 金額ベースでは達成

経済支援対象者の計画は未達となりましたが、収入増加に加えて前述の著作権等管理事業者に登録されたことでのアート使用料規程の変更もあり、支援金額総額は計画達成致しました。引き続き支援規模拡大に向け、前述の登録者増施策含め支援対象者増加に尽力いたします。

以上

参考資料 I (作品二次利用実績一例：2022年12月～2023年11月)



株式会社MOGU 様
【カードゲーム外箱】



都築電気株式会社様
【オリジナルカレンダー】



株式会社サンケイビル 様
【キーホルダー (スマホスタンド)】



NSユニテッド海運株式会社様
【クリスマスカード】



イオンモール大高 様
【ショッピングモール内店舗改装間仕切り】



株式会社CIJ様
【デジタルサイネージ (パラキャンパス)】



三国ワイン株式会社 様
【スパークリングワインラベル】



株式会社windbell 様
【金太郎飴】



株式会社服部食品 様
【商品パッケージ】



馬淵建設株式会社様
【建設現場仮囲い (東京都中野区)】



日本リユースシステム株式会社 様
【古着deワクチン衣類回収袋】



株式会社ネットスクエア様
【年賀状販売】

参考資料Ⅱ（登録者の声）

※ノベルティへの作品採用による著作権利用料や創作活動応援費の対価を得たこと等に対して登録者より多くのメッセージを頂戴しています。その一部を下記ご紹介いたします。

- この度、自分の作品を採用して頂きありがとうございます。初めて採用されたので、とても嬉しいです。これからも自分の個性を信じて絵を描いていきます。ありがとうございました。
- 今回は私の描いた絵を選んでくださりありがとうございます。このようなことは初めてで嬉しさでいっぱいです!なかなか絵が描けないときも多いのですがこれを励みにまた描いてみようと思います。私は一人で絵を描き続けてきましたが、こうして認めていただき、自信につながりました。あらためてお礼申し上げます。
- 自分の人生、無為に終わるかと思っていましたが、絵を描くことで張り合いが出てきました。発症して約20年、今でも苦しい日も多いですが、自分の作品を発表できる場があることに感謝しています。まだ精神疾患に偏見の多い世の中なのに、支援してくださっている方々が存在しているということに、驚きと感謝の念を持っています。本当にありがとうございます!
- いつも感謝の気持ちでいっぱいです。妹がとても喜んでくれるようになりました。有難うございます。
- いつもありがとうございます。絵を描き続ける励みになっています。皆様にみて頂いて、応援して頂ける事が嬉しいです。
- 私は最近自分の絵を初めて使って頂きました。自分が描いた絵を使っていただけるのはすごく嬉しくて描いてよかったとおもいました。私の絵を使ってくれて見てくれる方がいるということが分かり自信ができました。これからもたくさんの絵を描いていきたいと思います。
- 毎回の支援費、とても有り難く使わせて頂いております。様々な方の応援により、自分自身も創作活動により意欲的に取り組もうと思うことも出来、誠に感謝です。
- 小さな幸せを感じ、気にかけて下さる支援者がいることに大きな感謝をしています。今回いただいた支援金で贅沢にランチをしようかなと思います。いつもありがとうございます。
- 多くの企業の皆様、いつも活動を応援していただき、ありがとうございます。おかげさまで、自信をもって自分の人生を歩み始めています。これからもどうぞよろしく願いいたします。
- この度は、自身の活動が形となり、少しでも生活の糧となるようなかたちでのご支援をいただき、本当に本当に、心より感謝申し上げます。引き続き制作活動を頑張ってお参りたいので、今後ともよろしく願い申し上げます。

参考資料Ⅲ（可能性アートプロジェクト）

※可能性アートプロジェクト：TOPPANの高精細な画像データ処理技術を活用し、障がいのあるアーティストの作品を付加価値化することを通して、社会的課題解決（障がい者の自立）と経済的事業活動が両立するビジネスモデルを構築することを目指す取り組みです。

また、そのビジネスモデルの構築を、TOPPANの企業研修のプログラムとして採用し、次世代リーダーの育成にも活用しています。（TOPPAN ホームページより転記）

「可能性アートプロジェクト」作品二次利用事例一部抜粋



【株主通信表紙】



【マウスパッド】



【社内報表紙】



【消臭シート】



【メタバース空間内展示】



【株式会社 安藤・間様 建設現場仮囲い】



【TOPPAN株式会社様 小石川本社エントランス展示】



参考資料Ⅳ（活用企業の声、一部抜粋）

- お客様や従業員より、「ステキな作品ですね」というお声をいただき、会話のきっかけになっています。社会貢献できる取り組みだと思えます。元気がでるデザイン（ノベルティ：マスクケース）で、お渡しした方の反応は良かったです。ちょうどマスク必須の時期に作成し、お渡ししたので、使用してくれる方が多く好評でした。

（金鶴食品製菓株式会社様：作品展示、ノベルティ制作）

- サステナビリティへの取り組みの一環として、フェアトレードノベルティの制作を検討していました。その中で、障がいのある方が生み出すアートを活用することで、社会参加への機会の創出と経済的支援の両立が可能であることを知り、今回障がい者アート協会にてノベルティ制作に至りました。唯一無二の障がい者アート×弊社のロゴのデザインが良く、オリジナリティ溢れるノベルティとなり嬉しく思います。デザイン性も機能性も高く、社内でも好評です。取引先にお渡しするものではありませんが、社員自らが使いたいという声も多くあがっています。

（株式会社サンケイビル：ノベルティ制作）

- 当社のパーパス「人と知と技術で、可能性に満ちた“余白”を、ともに。」のもと、社会貢献活動として何かできないか検討している中で、障がい者アートと出会いました。作品を通して、自由に多彩な色でいまと未来を描ける“余白”をともに、社会に生み出し、育み続けていけるのではないかと感じ、アートの活用を検討しました。当社で90周年HPやカレンダーで利用させて頂きました。1つ1つの作品には、作者の思いが非常に伝わり、活用させていただいた作品にも思いが伝わり、非常にインパクト強く、感銘を受けました。他の用途でも活用したいと思っています。カレンダーでは、従来、風景写真を利用していましたが、アートに変更したことにより、カレンダーに温かみがでて、社内外からとても好評でした。

（都築電気株式会社：オリジナルカレンダー及びHPバナー制作）

- 過去の限定商品と比較して、作品のおかげでより良い商品となり、さらに多くのお客様に手に取っていただけたと感じています。ワインというと、どうしても分かりにくいイメージがあるかと思うのですが、アートのおかげで多くの人に見ていただく機会が生まれ、実際に味わっていただけたことがとてもプラスでした。作品そのものが素敵で、とても印象的な商品に仕上がったので、購入された方がSNSに掲載くださる機会が多かったように感じます。また、弊社主催の展示会の際、タイミングの都合上出展していなかったのにも関わらず、「本日は、あの商品は出していないんですか？とても素敵なデザインでしたよね！」と、複数のお客様からコメントを頂戴しました。発売済みの商品に関してそのように言われることはあまり無かったので、やはりお客様の印象に残る商品になんだなあと再認識いたしました。

（三国ワイン株式会社：限定ワインラベル制作）

参考資料V（8期お取り組み及びご協力企業様）※順不同

1. NS ユナイテッド海運株式会社	32. 公益社団法人日本理学療法士協会
2. TOPPAN ホールディングス株式会社	33. サントリービバレッジソリューション株式会社
3. TOPPAN 株式会社	34. シャディ株式会社
4. TOPPAN エッジ株式会社	35. ゼネラルビジネスマシン株式会社
5. イー・エー・ユー株式会社	36. ネットスクウェア株式会社
6. 一般財団法人凸版印刷三幸会	37. ブックオフコーポレーション株式会社
7. 一般社団法人日本自閉症啓発推進委員会	38. 有限会社時代工房
8. 株式会社 HR イノベーション	39. 有限会社文化センターボックス
9. 株式会社 靴商店インターナショナル	40. 安藤ハザマ興業株式会社
10. 株式会社アイ・コーポレーション	41. 株式会社 BeBlock
11. 株式会社イデビュ	42. 株式会社 CIJ
12. 株式会社ウィンドベル	43. 株式会社 Lotus8
13. 株式会社エコリング	44. 株式会社 MOGU
14. 株式会社エデュケーションアルネットワーク	45. 株式会社 STYZ
15. 株式会社オーディオテクニカ	46. 株式会社サンケイビル
16. 株式会社オクムラ	47. 株式会社ビジネス・インフォメーション・テクノロジー
17. 株式会社オフィス DB	48. 株式会社ベネフィット・ワン
18. 株式会社キョウエイアドインターナショナル	49. 株式会社安藤・間
19. 株式会社キリンビバックス	50. 株式会社日本能率協会マネジメントセンター
20. 株式会社コーシン	51. 金鶴食品製菓株式会社
21. 株式会社サーヴォ	52. 三国ワイン株式会社
22. 株式会社タツミコーポレーション	53. 三和ホールディングス株式会社
23. 株式会社チアドライブ	54. 都築電気株式会社
24. 株式会社 八洋	55. 東京ガス株式会社
25. 株式会社 ADK マーケティング・ソリューション	56. 日本セイフティー株式会社
26. 株式会社プリントパック	57. 日本マニファクチャリングサービス株式会社
27. 株式会社ヤマデン	58. 日本リユースシステム株式会社
28. 株式会社レボル	59. 馬淵建設株式会社
29. 株式会社神奈川ナブコ	60. 飯能商工会議所
30. 株式会社日本取引所グループ	61. 有限会社南印度洋行
31. 公益社団法人日本フィランソロピー協会	他、企業名非公開 4社

参考資料Ⅵ（財務諸表）

一般社団法人 障がい者アート協会

比較損益計算書 (2022年12月～2023年11月)

(単位：千円)

	7期	売上比	8期	売上比	増減額	増減率
売上高合計	25,242		30,532		5,290	121.0%
売上原価	9,896	40.9%	11,536	37.8%	1,640	116.6%
売上総利益	15,346	59.1%	18,996	62.2%	3,650	123.8%
販売費及び一般管理費合計	15,326	47.7%	18,366	60.2%	3,040	119.8%
営業利益	20	11.4%	630	2.1%	610	3215.3%
営業外収益合計	0	0.1%	0	0.0%	0	100.0%
営業外費用合計	0	0.0%	0	0.0%	0	—
経常利益	20	11.4%	630	2.1%	610	3206.7%

貸借対照表 (2022年12月～2023年11月)

(単位：千円)

	7期	構成比	8期	構成比	増減額	増減率
流動資産合計	4,927	98.3%	6,824	97.1%	1,897	138.5%
固定資産合計	246	1.7%	203	2.9%	▲43	82.4%
資産の部合計	5,174	100.0%	7,027	100.0%	1,853	135.8%
流動負債合計	191	14.1%	1,554	22.1%	1,363	811.9%
固定負債合計	0	0.0%	0	0.0%	0	-
負債の部合計	191	14.1%	1,554	22.1%	1,363	811.9%
純資産の部合計	4,982	85.9%	5,473	77.9%	491	109.8%
負債・純資産の部合計	5,174	100.0%	7,027	100.0%	1,853	135.8%

一般社団法人 障がい者アート協会
埼玉県飯入間市小谷田656-2グリーンコート101

代表理事 熊本 豊敏
専務理事 水谷 陽平
理事 柴田 礼子